

常磐道活用した渋滞対策は

国の社会実験制度を利用

議員(自民) 日立市内は、朝夕に慢性的な交通渋滞が発生しているが、道路整備には長期間かかる。常磐道を活用した渋滞緩和策について伺いたい。



日立市内の渋滞

土木部長 国は、有料道路の料金を割り引き、一般道路からの交通転換を図る社会実験制度を創設した。日立市内は、交通容量に余裕のある高速道路と渋滞する道路が並行して走っているため、高速道路の活用は、渋滞緩和策として有効であり、社会実験実施に向けて、積極的に取り組む。

議員 中心市街地の空洞化対策として、定住化を促進し、活性化するように、良好な住宅の供給を進める

議員(自民) 県ではこれまで、「畑地帯総合整備事業」を中心に畑地の整備を進めてきたが、事業が進まないうのが現状である。本県農業の生産力向上の根幹である畑地帯整備の推進方策は、

農林水産部長 畑地の基盤整備に消極的な農業者に対しては、担い手へ農地を貸与することを条件に基盤整備の負担金に対する上乗せ助成等を行いながら、「畑地帯総合整備事業」を核とした畑地の基盤整備等

「畑地帯総合整備事業」が核

畑地の基盤整備推進は

必要がある。日立市中心市街地における県営住宅整備の取り組みについて伺いたい。

土木部長 子育て世帯を支援する先導的な県営住宅整備に向け、市と検討を進めてきた。三月末に市の福祉施設との一体的な整備について協議が整い、基本設計に着手した。一六年度以降の早い時期に建設工事に着手したい。

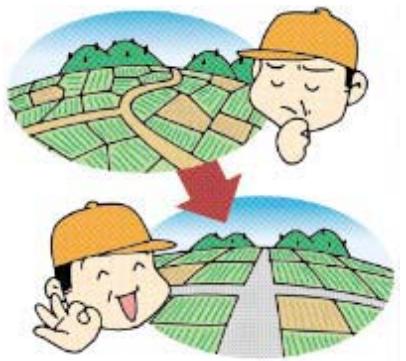
(ほかに、チルソン号の座礁事故、食の安全対策なども質問)

「畑地帯総合整備事業」が核

の推進に重点的に取り組む。

議員 県内の中心市街地は空洞化が進み危機的状況にあるが、中心市街地の活性化と商店街のにぎわい再生へ向けての取り組みは、

商工労働部長 県は今年度新たに商業活性化の中心の担い手となる街づくり機関(TMO)を設立するための連絡会を立ち上げる。また、市町村や商工団体などと協議会を設け、セ



いきいきとした茨城づくりは 発展基盤活用し産業振興

議員(自民) 地域間競争により元気が活力ある

地域とそとでない地域との格差が一層拡大する。いき

いきとした元気な茨城づくりをどう進めていくのか。

知事 広域交通ネットワークやプロードバンドネットワークなどの発展基盤を活用した人・物・情報の交流拠点の形成や特区制度を活用した産学官連携、素材

産業の強化、物流拠点作りを目指す一方、販売・流通の強化など農業をはじめとした各分野の産業振興を図り茨城の活力を高める。議員 爆発事故が相次ぐ中、火災類の保安の充実強化についての対応は、また、火災庫等設置にあたり地元への情報提供や合意形成、安全確保への取り組みは、

商工労働部長 保安検査のつと、安全確保について指導と周知を図る。火災庫設置等の許可にあたっては市町村や住民に説明を実施し、理解を得るよう事業者指導を強化。事業者の自主保安の一層の促進を図る。(ほかに、歴史・文化を生かしたまちづくり、野菜の産地改革の取り組みなども質問)

決議

県議会は、平成一五年六月一八日の本会議において、次の決議をしました。

「政治倫理綱領」の遵守に関する決議

本議会においては、平成六年六月一六日に、県議会が本来の機能、役割を十分に果たし、議員それぞれが県民の疑惑を招来することがないよう自らを戒め、県政に対する信頼を確保していく決意を明らかにするため、「政治倫理綱領」を定め、「政治倫理の確立に努めてきたところである。

政治倫理綱領

政治倫理の確立は、県政発展に向けての全ての議員活動の大前提である。われわれは、かかる認識のもとに県政の信頼回復及び汚職と腐敗の防止に対処するに当たり、決意を新たに議会本来の使命の達成に努めなければならない。

ここに、県政の健全な発展と厳正な議会の運営に資するため、政治倫理綱領を定める。

一 われわれは、県民の信頼に値するより高い倫理的義務を自覚し、政治不信を招く公私混同を厳に戒め、清廉を持すよう努めなければならない。

一 われわれは、汚職と腐敗の再発防止を図るため、議決に際しての審議・審査の充実や調査権限等の積極的活用など、議会権限の適切な行使に意を用いなければならない。

しかるに、最近一部議員の暴力団関係者との交際が報じられ、県民の信頼を著しく損なう結果となつていく。これが事実であるとすると、「政治倫理綱領」にもとる行為であり、極めて遺憾である。

県政の健全な発展は、県民の議員に対する揺るぎない信頼があつてはじめて成し遂げられるものであり、そのためには議員の高い倫理観と見識が不可欠である。

よつて、本議会は、県民の負託に心懸るべく、「政治倫理綱領」遵守の徹底を図り、県民の信頼回復に全力で取り組むことをここに決意する。

一 われわれは、時代の要請を先取りできるよう常に政策の研究と高い識見の涵養に努めるとともに、議員活動に際しては、名譽と責任を重んじ、よりよい明日の生活を願つて県民のために積極的に活動しなければならない。

平成六年六月一六日

茨城県議会

一般質問

(要旨)

<2-3面>

質問者

菊池 敏行(自由民主党)

戸井田 和之(自由民主党)

白井 平八郎(自民県政クラブ)

錦織 孝一(自由民主党)

加倉井 昭喜(自由民主党)

新井 昇(自由民主党)



官連携、素材

3面へ続く